



町屋荒川 散策マップ

※このマップは、平成29年7月～12月に開催された「荒川区景観まちづくり塾」の受講者によって企画・制作が行われました。同塾は協働のまちづくりの考え方にに基づき、区民による主体的な景観まちづくりを支援することを目的としています。

主催：荒川区防災都市づくり部都市計画課、荒川区景観まちづくり推進委員会
制作：町屋・荒川チーム（〇北川、脇田、伊東、佐藤、種村、種村、吉田、今嶋）

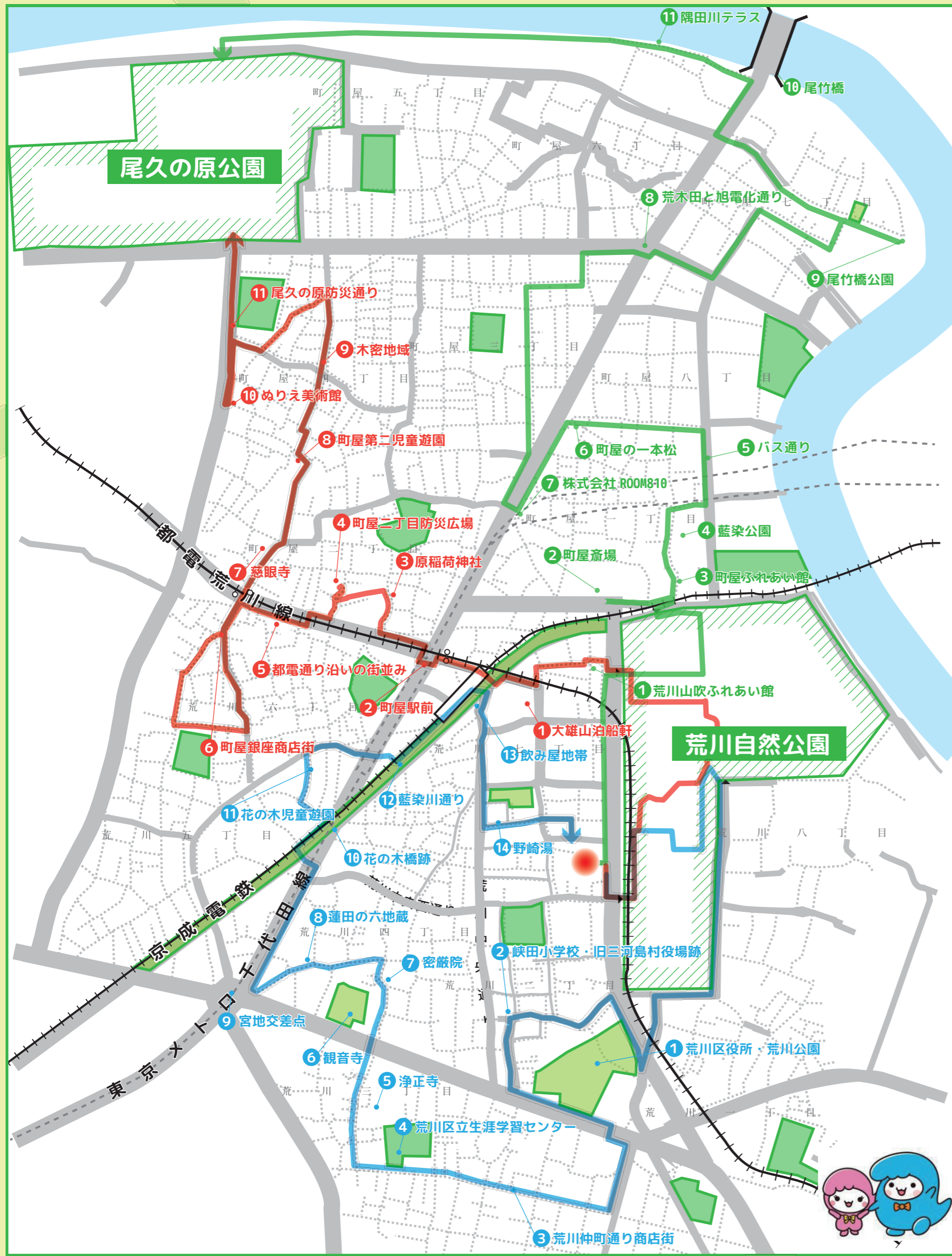


①「ゆいの森あらかわ」を訪れる方々に、周辺のまちの魅力を伝えたい

平成28年2月に開館した「ゆいの森あらかわ」は早くも人気のスポットと化し、連日賑わいが絶えません。しかし、そのまわりに広がる町屋・荒川というまちはいかがですか？ ついつい通り過ぎてしまっていないですか？ 我々は、このマップを用いたまちあるきガイドツアーを企画・運営することを通じて、まちが持つ魅力をシェアしていくプラットフォームを作りたいと考えています。

②広域避難場所である「荒川自然公園」や「尾久の原公園」の場所と魅力を知っていただきたい！

当地区周辺には「荒川自然公園」と「尾久の原公園」という2つのオープンスペースが広域避難場所が指定されていますが、利用することは少ないため、いざという時に場所や入り口がわからないという事態が想定されます。我々のツアーではこれら広域避難場所をコースに組み込んでおり、楽しみながら場所を理解することができます。



道路

- 幅員6m以上の道路
- 幅員6m未満の道路

鉄道

- 軌道敷（都電・京成電鉄）
- 地下鉄軌道

避難スポット

- 広域避難場所
- 一時（いっとき）集合場所
- 一次避難所・一時集合場所
- 防災マーク

※一定規模の空地や堅固な建築物など、当地区における一般的な住宅地よりも災害時の安全性が高いと思われる箇所にマークをつきました。制作チームの独断によるものなので、荒川区はどの責任も負いません。

町屋①

荒川自然公園を出て北に向かい、川沿いを歩きながら尾久の原公園へ至るルートです。

- 1 荒川山吹ふれあい館** 荒川 7-6-8
平成18年開設。4階上には花壇も設置されている。赤ちゃんから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる全く新しいコミュニティサロン。1階のサロンスペースも楽しい。
- 2 町屋斎場** 町屋 1-23-4
明治22年の市町村制施行の年に、町屋に火葬場の設置が決定された。明治28年に日暮里火葬場を併合。現在の斎場は平成6年に建立され、桜の名所にもなっている。
- 3 町屋ふれあい館** 町屋 1-35-8
事務所前の利用者記載コーナーで名前を記入すれば、1階ラウンジスペースで休憩も出来る。様々な人がテーブルを囲んで話している。親切な対応はお店のようだと好評。
- 4 藍染公園** 町屋 1-34-9
2017年のリニューアル。ボール遊びが可能なエリアが特徴的で、子供用幼児用遊具施設もある。子供を安心して遊ばせることができるので、夕方には、沢山の子どもで賑わう。
- 5 バス通り** 町屋 8-8
町屋7～8丁目の隅田川の背後地にはマンションや福祉施設など中層の建物が多く、中央を走るコミュニティバス「さくら」が住民にとっての重要な足となっている。
- 6 町屋の一本松** 町屋 1-9-16
江戸時代に町屋村と三河島村との境に設置された一本松が戦災で枯死。根元の庚申塚に新たに松が植えられ、平成6年より「一本松グリーンスポット」として面影を伝えている。
- 7 株式会社 ROOM810** 町屋 1-6-5
デザイン会社の屋上にはイタチの彫物が街を見下ろすしており、新たな名所となっている。同時に、まちづくりNPO法人「TOKYO L.O.C.A.L.」の拠点にもなっている。
- 8 荒木田と旭電化通り** 町屋 5-6
土壁や土俵の盛土に使われた土が採られた地で、現在は交通量だけ名前が残る。また、かつて立ち上っていた企業名に由来する通りは、喫茶店や大規模な公園、大学が並ぶ。
- 9 尾竹橋公園** 荒川 7-17-6
かつては隅田川の対岸にあったお化け屋敷を前にした観音公園だったものの、現在は三ツツ子遊園地によって川から切り離された。今も変わらず子供達の遊び場になっている。
- 10 尾竹橋** 荒川 7-17-6
対岸の足立区側にあった「尾竹の渡し」に因み、昭和9年に架橋された。西新井大師への渡し場として栄えた。命名の由来は、近くの茶屋もいた女性「おたけさん」と伝えられる。
- 11 隅田川テラス** 町屋 5-6
隅田川両岸に、憩いの場として利用できるラスター屋根や遊歩道として整備された観音公園。尾竹橋から東久留まで区間は距離も長く、散策を楽しめる。

町屋②

荒川自然公園を出て西に向かい、下町風情を感じながら尾久の原公園へ至るルートです。

- 1 大雄山泊船軒** 荒川 7-17-2
昭和初期から現存する本堂天井には、小室翠雲の「雲龍図」、内陣の格天井には日本画家による「花鳥風月画」が納められ、境内には太田道灌の「山吹の塚」がある。
- 2 町屋駅前** 町屋 1-1-5
町屋駅前には、京成線・千代田線・都電・都バスが交差する中心地。浅草・上野・銀座・有明に30～40分でアクセスできる大変便利な所に位置している。
- 3 原稲荷神社** 町屋 2-8-7
徳川家康の入部に伴って三河の農民が町屋に移住した時に寄り、社殿は現在も全国でも珍しい阿彌陀三尊の線刻が施された庚申塔が建立されている。
- 4 町屋二丁目防災広場** 町屋 2-15
小高い丘からローラー付きのスペリ台があり子供たちの人気スポット。災害時に消火用水、区民水利、防災用があり、仮設トイレも用意されている。
- 5 都電通り沿いの街並み** 荒川 6
歩道には5月につつじが咲き、都電線路内にはバラが鑑賞できる。電線の地下埋設工事が終わると、夕方の空の夕焼けは一見に値する景色になる。
- 6 町屋銀座商店街** 荒川 6
昔は銀座の名前の通り賑わいのある方々の買い物中心の商店街だったが、今は典型的なシャッター通りだ。商店街の復活と賑わいが戻るのが待ちどわしい。
- 7 慈眼寺** 町屋 2-20-12
開山は慶長3年（1598年）と伝えられ、本尊朝日如来は眼病や産婦の乳の出がよくなる等の効験があり、町屋村の人たちの崇敬を集めていた。多くの石像がある。
- 8 町屋第二児童遊園** 町屋 4-5-10
通称こころ公園と呼ばれる。飛行機の形のジャングルジムがある。春には大きな桜の木からの花吹雪がきれい。弥生時代の町屋四丁目彌生遺跡史跡案内が目立つ。
- 9 木密地域** 町屋 4
東京都内で災害時に最も危険度の高い地域であり、木道の家庭が密集して建てられている。家々の軒先には鉢植えが並ぶ。狭い道は清潔で、路地裏文化を感じさせる。
- 10 めりえ美術館** 町屋 4-11-8
荒川区唯一の美術館で、世界で初めての「めりえ美術館」。館内には「きいちのめりえ」の、戦前や海外のめりえなどのコレクションも展示されている。
- 11 尾久の原防災通り** 町屋 4
木密地域に隣接した防災用に整備された通りで、建設当初から電線が空中に架けられ、すっきりした景観が楽しめる。尾久の原への安全な避難路でもある。

荒川

荒川自然公園を出て南に向かい、歴史を感じながらゆいの森へ戻るルートです。

- 1 荒川区役所・荒川公園** 荒川 2-2-3
区役所の前に広がる桜の名所。中央の彫像は、長崎の平和祈念像と同じ北村西望作「夢」。園内では四季折々の花を楽しむことができ、のどやかな風景が広がる。
- 2 旧三河島村役場跡** 荒川 2-8
明治元年に廃寺となった仙光院跡に寺子屋が作られ、その後三河島小学校が開設された。跡地は三河島村役場として使われたが、現在は教育委員会による解説のみが残る。
- 3 荒川中町通り商店街** 荒川 5
狭く直線の道が特徴的な商店街。昭和28年に商店街となり、昭和30年代から40年代は「スリが出るほど」賑わっていたと言われる。現在は新たな世代による開業が見られる。
- 4 生涯学習センター** 荒川 3-49-1
廃校した小学校を平成9年に転用した。芸術・文化など様々な生涯学習が可能な施設。校庭もスポーツ用に開放されており、子供の歌声や、それを見守る保護者の姿が微笑ましい。
- 5 浄正寺** 荒川 3-55-1
三河島観音が安置されており、昭和37年の三河島事故の犠牲者を供養している。江戸期には、3,600坪の広さがあったとされており、多くの石仏・石塔がある。
- 6 観音寺** 荒川 4-5-1
真言宗豊山派の寺院。江戸時代に三河島付近では将軍家の鷹狩が頻りに行われており、観音寺は御願所とされ、三河島菜が献上された。現在は、一時避難所にも指定されている。
- 7 密蔵院** 荒川 4-16-3
三河島大師として親しまれ、江戸霊場として賑わったとされる。天文9年（1540年）の板碑がある。江戸時代は、御願所の第15番所だった。
- 8 蓮田の六地藏** 荒川 4-10
周辺では昔から集落が開けており、町屋から宮地を抜けて台東区方面に向かう「江戸道」が通っていた。道行く人々に安らぎを与える存在として親しまれた。
- 9 宮地交差点** 荒川 4-10
明治通りと尾竹橋通りを含む7本の路が交差する交通の要衝。かつてはロータリーとして使われたが、昭和49年に陸橋が作られて立体交差となった。
- 10 花の木橋跡** 荒川 3-14-3
大正7年、尾竹橋通りと交差していた藍染川に架橋して「花の木橋」と命名された。昭和35年の暗渠化工事に伴い、尾竹橋通りと藍染川通りの交差点となり、石橋が残っている。
- 11 花の木児童遊園** 荒川 3-14-3
ブランコなどの遊具が設置された。区の標準的な児童遊園。子供たちが、鬼ごっこなど、走り回れる場所。三河島村の歴史を伝える掲示板が設置されている。
- 12 藍染川通り** 荒川 4-10
大正2年に計画された人工河川である藍染川は、上野初音町から京成電車沿いに隅田川に注ぐ。保健衛生・交通安全の面で暗渠、道路になる。現在は一時避難場所にも指定される。
- 13 飲み屋地帯** 荒川 7
町屋駅の東側に広がる、連日の賑わいが見られる夜の街。特徴的な看板を眺めながら昼間散策するのも楽しい。
- 14 野崎湯** 荒川 2-59-2
高い煙突が目印の銭湯。立派な江戸建築の入口で、洗い場は広く、天井も高く、多くの銭湯ファンに支持されている。